

## 令和4年度 農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)のうち 農山漁村発イノベーション推進事業(農泊推進型) 事業実施主体 評価一覧

### 1. 事業評価の実施

令和4年度に実施された「農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)のうち農山漁村発イノベーション推進事業(農泊推進型)」の事業について、「農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)実施要領」(令和4年4月1日付け3農振第2921号農林水産省農村振興局長通知)別記4の第9の2の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

### 2. 事業評価結果の総括

令和4年度に交付金事業を実施した13地区について、取組の実施状況、成果等を総合的に評価した。その結果、優良と認められる地区が8地区、良好と認められる地区はなし、総合的に低調と認められる地区が5地区との評価結果となった。総合的に低調と認められる地区に対しては、重点的な指導、助言等を行う。また、今年度の評価対象ではないが昨年度に重点指導の対象となっていた2地区について、重点指導の結果を評価した。その結果、来年度も引き続き重点的な指導、助言等を行う地区はなかった。

### 3. 各地区の評価結果

#### 農泊推進型(農泊地域高度化事業を除く)12件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評価コメント	
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8			
中国四国農政局	岡山県	笠岡市	北木島活性化プロジェクト協議会		●	●	● ■						A	(ソフト事業) 採択された令和2年度以降コロナ禍で実績が伸びなかったが、事業者同士の連携を強め令和4年度には売上高、延べ宿泊数も順調に回復してきている。 FAMツアーにも取組み率直な意見を聞くことで商品のブラッシュアップに繋げ、島民や関係事業者の意識向上を図っている。 今後のインバウンド需要を見据え、笠岡諸島だけでなく周辺地域一帯で取り組んでいく姿勢も評価できる。
中国四国農政局	香川県	さぬき市	さぬき市津田地区漁業活性化協議会		●	●	● ■						A	(ソフト事業) 計画に位置付けられた目標は概ね達成されており、計画に基づく取組が実施され、実施体制も計画どおりに整備されていることから、総合的な評価はA評価とした。 地域の合意形成も十分にとれており、本事業によって地域全体の取組となっている。また更なる発展を目的に一般社団法人化されており、将来性にも期待できる。

中国四国農政局	島根県	隠岐の島町	都万地区農泊推進協議会			●	● ■						A	(ソフト事業) 計画に位置付けられた目標について、すべての項目で100%実施され、事業実績についても90%以上の達成率となったため、総合評価はA評価とした。 既存商品のブラッシュアップや新商品の開発を行うとともに、食メニューに関するアンケートやモニターツアーも実施し実際の利用者の声を取り入れて運営していることも評価できる。また、地域資源発掘や調査等を積極的に行ったり、ワークショップや動画作成の補助をしたりと雇用した人材のマルチな活躍にも期待される。
中国四国農政局	岡山県	津山市	つやま農業生産物ブランド化推進協議会			●	● ■						A	(ソフト計画に位置付けられた目標事業) 計画に位置付けられた目標の達成率はいずれも100%を達成していることから、総合的評価はA評価とした。地域での合意形成に積極的に取り組み、新メニューや体験プログラムのメニュー数を順調に増やしている。また、マーケティングにも力を入れており、旅行会社やOTAを活用して販路拡大を進めていることも大きく評価できる。
中国四国農政局	岡山県	備前市	三国地区農泊推進協議会			●	● ■						A	(ソフト事業) 計画に位置付けられた目標の達成率はいずれも100%以上であり、計画に基づく取組が実施され、実施体制も計画どおりに整備されていることから、総合的な評価はA評価とした。 特産を生かした人塔寺おこわやさつまいもの缶詰を試作開発するとともに、ふるさと納税返礼品やアンテナショップでの取扱いなど販路拡大を念頭に置いている。 モニターツアーの実施や地域イベントへの参加、観光動画の作成など地域の魅力発信に努めている。また、今後のインバウンド需要を見込んだオンライン予約や多言語化も整備しており、更なる集客が期待できる。
中国四国農政局	岡山県	瀬戸内市	せとうち牛窓玉津農泊推進協議会			●	● ■						C	(ソフト事業) 計画に位置付けられた事業実績については良好であったが、主な取組のうちの1つが50%未満となったため、総合評価はC評価とする。 コロナの影響を受けて予定していた海外PR活動などいくつか未実施となったが、近県やメディアを通じたPR活動を行い成果を上げている。 定期的に定例会を設け積極的に合意形成を行っており、様々なコンテンツ開発がスムーズに行われていると感じる。
中国四国農政局	山口県	下松市	くだまつ農山漁村ツーリズム協議会			●	● ■						C	(ソフト事業) 計画に位置付けられた主な取組は積極的に実施され、実施体制も協議会と市町村が中心となり連携が確立されているが、開発したコンテンツ等の商品化が4年度末と遅れ売上高・宿泊者数と目標の50%未満と低調であったため、総合的評価はC評価とした。 本取組で開発された体験コンテンツや特産品は、地域のプロモーション活動と併せて周知されてきている。事業実施期間内に未実施となった団体向けの体験コンテンツや特産品の飲食店での提供など、実施できる体制が整えば更なる集客と地域の所得向上が期待できる。
中国四国農政局	徳島県	美馬市	美馬市特産品農泊連携協議会			●	● ■						A	(ソフト事業) 計画に位置付けられた目標はいずれも高めの設定をされており、その目標に向けて積極的に取り組まれている。 県内外で行われるイベントや商談会に出展しPR活動を行ったりOTAサイトへの取組から、今後の販路の拡大や地域への誘客に期待が持てる。

中国四国農政局	香川県	高松市	特定非営利活動法人しおのえ				●	○ □					C	(ソフト事業) 当初予定していた宿泊施設の開業を翌年に見送ったため事業実績がC評価となった。 主な取組に挙げられているサーキュラーエコノミーを目指した調査やFAMツアーの実施など、将来を見通した取組みがなされており今後期待できる。
中国四国農政局	香川県	丸亀市	本島・さかな部活性化協議会				●	○ □					A	(ソフト事業) 計画に位置付けられた目標についてほぼ達成しており、総合的な評価はA評価とした。 本事業実施することで協議会内の雇用創出、構成員の新規事業立ち上げや協力事業者の新規参入など、地域全体が活性化しており次年度に向けた更なる集客に期待できる。
中国四国農政局	香川県	土庄町	てしま農泊推進協議会				●	○ □					A	(ソフト事業) 計画に位置付けられた目標の達成率はいずれも90%以上であり、計画に基づく取組や実施体制も整備されていることから、A評価とした。 アンケート調査に基づく地域資源の洗い出しや協議会を通じた合意形成が行われており、積極的な活動が認められる。 先進地視察やWEB研修、ドローン・映像編集講習会など、更なる誘客に向けた取組も実施され、雇用した人材も有効に活用されている。
中国四国農政局	香川県	多度津町	地域活性化協議会瀬戸内ユニオン				●	○ □					C	(ソフト事業) 計画に位置付けられたそれぞれの取組達成率はいずれも90%以上だったが、宿泊施設の受け入れが間に合わず事業実績が上がらなかったため、総合評価はC評価とした。 開発した体験コンテンツや宿泊の予約をオンラインで受け入れる体制が令和5年度より整うため、今後の販売・誘客に期待できる。

**農泊推進型(農泊地域高度化促進事業)1件**

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評価コメント		
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8				
中国四国農政局	鳥取県	岩美町	岩美渚泊推進協議会			●	● ■							C	(ソフト事業) 取組に掲げられていた「ICT環境の外国語対応」「留学生を活用したコンテンツの磨き上げ」「コマース映像(外国語対応)の政策及び配信」は完了したが、インバウンド回復の見込みが令和4年度から1年ほど後ろ倒しとなったため、宿泊・売上高とも低調に終わり、C評価となった。令和5年度以降、コロナ前の水準に戻すためのコンテンツは準備されているため今後期待できる。

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ソフト対策 ○●交付対象年度(計画) ●●交付対象年度(実施済) □●目標年度(計画) ■●目標年度(実施済)  
ハード対策 ☆●交付対象年度(計画) ★●交付対象年度(実施済) ◇●目標年度(計画) ◆●目標年度(実施済)  
重点指導 ▼●重点指導(通知) △●重点指導(結果報告予定) ▲●重点指導(結果報告)

(注2) 「評価」の区分: A●優良 B●良好 C●低調 評価対象外●評価対象外

#### 4. 第三者機関の意見聴取

農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)実施要領(令和4年4月1日付け3農振第2921号農林水産省農村振興局長通知)別記4の第9の3の規定に基づき、第三者機関である「農山漁村振興交付金(都市農村交流等)評価委員会」を組織し、評価に当たり意見の聴取を行った。評価委員会の委員及び開催概要は以下のとおり。

##### 【評価委員会 委員】

委員長: 駄田井 久(岡山大学准教授)

委員: 吉浦 彩乃(株式会社農協観光 地域共創事業課 課長代理)、木村 京子(JA香川県五名女性部 部長)

##### 【令和5年度評価委員会の開催概要】

###### 第1回評価委員会

1 日 時 : 令和5年7月10日(月) 13:15~15:30

2 場 所 : 岡山県美作市(美作自立支援センター)

3 概 要

①令和4年度評価対象地区の評価方法について

本年度の評価方法について、説明を行い了承を得た。

②事業完了したその後の取組状況についての現地確認と意見交換を行った。

4 主な意見

・事業実施計画に基づいた取り組みを行っていることで、経営が飛躍していることを確認。

・利用者が地域で働く姿勢を見せることで地元住民との繋がりが深まり、近隣農家から応援してもらえる環境が構築され耕作放棄地や高齢により管理が困難になった農地の管理を依頼されるまでに成長している。

###### 第2回評価委員会

1 日 時 : 令和5年8月21日(月) 13:30~15:30

2 場 所 : 岡山県岡山市(岡山地方合同庁舎)

3 概 要 : 令和5年度農山漁村振興交付金(農泊推進対策)の事業評価について

・農泊推進対策を活用した、令和2年度採択2件、令和3年度採択7件(高度化促進事業1件含む)、令和4年度採択4件の計13件について、評価方法及び各地域の評価結果について評価委員へ説明を行い了解を得た。

4 主な意見

・全体としては各地域努力しており今後に期待している。今回のC評価は取組というより環境(施設開業延期、コロナ)に左右されているのが惜しい。

・インバウンドは爆発的に伸びており、マイクロツーリズムの認知度も上がっている。観光庁でも農泊地域へ誘客する動きがあるので、観光と一緒に頑張ってほしい。

・農泊地域の海側と山側の連携やDMOとの連携など、お互いに紹介しあって広めていくことも重要である。